



徳島県立中央病院 患者支援センター

770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3

<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151

FAX 0120(631)715

mail: chiiki@tph.gr.jp

最近の心臓血管外科手術

心臓血管外科 木下 肇

近年の心臓血管外科手術はステントグラフト内挿術(EVAR/TEVAR)や経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)などに代表させるような低侵襲治療が急増しています。また、従来の胸骨正中切開でのアプローチではなく、手術創を小さくする低侵襲心臓手術(MICS)も増えています。しかしながら、未だ標準治療である従来の人工心肺装置を使用した開胸手術の成績も向上しており、術後経過も早くなっています。

今回は、最近の心臓血管外科手術の実際と術後経過について、代表的な疾患を例として述べさせていただきます。

1) 弁膜症

高齢化に伴い、大動脈弁狭窄症及び僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。定期手術の単独大動脈弁置換術の手術時間は3-4時間程度です。術当日あるいは術翌日朝に抜管することが多く、ICU滞在は2-3日程度で一般病棟に転棟します。リハビリは術翌日から行い、術後は7-14日程度で退院することが多いです。僧帽弁閉鎖不全症は可能な限り自己弁を温存した形成術を行うようにしています。しかし、中等度以上の逆流が残存する場合は遠隔期に再手術となることもあり、弁置換を躊躇なく行うこともあります。

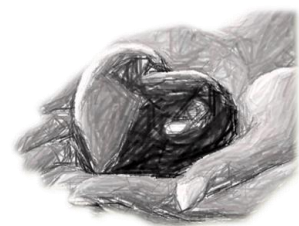
2) 大血管疾患

急性A型大動脈解離に対する手術は大動脈疾患の中でも特に予後が不良な疾患です。約20年前までは死亡率は18.7%でありましたが、近年は11.3%まで改善されています。いかに合併症(特に脳合併症)を無くすかを第一に考えています。大動脈解離の手術成績を改善する治療戦略として、①安全で確実な体外循環の確率、②解離の裂け目(エントリー)切除を目的とした術式選択、③確実な止血吻合・断端形成が重要と考えます。解離の手術ではまず、安全に人工心肺装置を確立し、全身の体温を下げることから始まります。人工心肺装置の送血部として、大腿動脈、鎖骨下動脈、心尖部などがあります。多用されている大腿動脈は迅速である一方で逆行性送血となるため、血流のスイッチングに伴う臓器虚血や脳虚血のリスクもあります。その様な場合は腋窩動脈や心尖部から送血を行うこともあり、当科ではどの送血部位でも対応できる準備をしています。直腸温26-28度まで冷却し、循環停止(人工心肺からの送脱血を中止し、全身の血流を停止)とします。脳だけは虚血耐性能が低いいため、大動脈を切り開いて内腔から別に血流を送ります。その間にエントリーを探し、確実に除去できる部分で吻合を行います。上行置換になるか弓部置換になるかはエントリーの部位で判断されます。上行置換では6時間程度、弓部置換では8-10時間程度の手術時間です。

3) 虚血性心疾患

狭心症、心筋梗塞などに対する冠動脈バイパス術が代表的な手術です。近年はPCI治療が増加し、さらに左冠動脈主幹部病変や3枝病変でもPCI治療を行う傾向にあります。冠動脈バイパス治療が標準治療であることに変わりはありません。特に最近、冠動脈バイパス術が適応となる患者様は糖尿病や透析などハイリスク患者が多い傾向にあります。当科では基本的に完全血行再建を行う方針としています。多くの症例で人工心肺装置を使用しないoff pump CABGを行います。心機能低下や緊急症例などでは無理をせず人工心肺装置を使用して完全血行再建を行うことを優先する様にしています。定期手術のバイパス手術は3-5時間程度の手術時間で当日か翌日朝に抜管することが多いです。術後約1週間後に冠動脈CTでグラフトの評価を行います。早ければ術後7-10日程度で退院することができます。

この様に従来の開心手術の手術成績と術後経過は改善しており、外見(傷の大きさ)は以前と変わりありませんが、その中身(手術時間と成績・術後経過)は確実に改善されています。徳島県内で心臓血管外科専門医は13名しかいませんが当科では4名の専門医が診療しております。低侵襲治療であるステントグラフトができる指導医(木下・藤本)も2名診療しています。MICSができる医師(加納)も1名診療しています。患者様のニーズにお応えし、常に最善の治療が提供できる様に考えて診療を行っております。また、24時間の緊急対応もしておりますので、是非ともご相談ください。よろしくお願い致します。



E-ナース院内研修のお知らせ



① 『糖尿病患者のセルフマネジメント支援技術』

講師：篠原 真緒氏（JCHO東京高輪病院 糖尿病看護認定看護師）

日時：令和2年1月15日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

② 『コーディネーターナース中心の糖尿病診療～地域連携、多職種連携～』

講師：赤司 朋之氏（医療法人社団シマダ 嶋田病院内科部長／佐賀大学医学部臨床教授）

日時：令和2年1月29日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『せん妄と看護』

担当：精神科認定看護師

日時：令和2年1月24日（金） 17:30～18:30 場所：当院3階講堂

② 『第2回 Gナース 県中横断ウルトラクイズ』

担当：エキスパートナース会

日時：令和2年2月4日（火） 17:45～18:30 場所：当院3階講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。

院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

令和元年10月は、地域医療支援病院

紹介率 95.3% 逆紹介率 184.7%でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。